



やまだ まさる
山田 勝さん(65歳) 弥富市稲荷

毎日に花のある暮らしを

山田さんは菜々耕房の切り花部会で役員を務めるバラ農家です。就農して今年で43年を迎え、産直には8年ほど前から本格的に出荷をはじめました。

バラの栽培では「香り」に徹底的にこだわり、様々な品種を手掛けてきた山田さん。経営も順調に進む中、転機となったのは今から10年ほど前の平成21年のことでした。

「観賞用のバラは、害虫からその美しさを守るため、一定量の農薬が日常的に必要となります。そのため、周りの生産者の方々の間で、農薬散布に起因する事故が起っていました」と当時を振り返る山田さん。そこで、『不幸な事故を無くし、後継者や若者が安心して挑戦できる環境にしたい』と奮起。それまで前例のなかった化学肥料や化学農薬を使わないバラの有機栽培に取り組み始めました。

しかし、1年目は害虫被害で売上が前年の10分の1にまで激減。それでも決して諦めることなく、

ついに3年かけて有機栽培に成功しました。山田さんが丹精込めて育てたバラは、華やかな見た目や自然由来の柔らかい香りに加え、安心して食べられるオーガニックローズとして大きな注目を集めました。

その功績からバラ農家としてフランス大使館にも招待されるなど、有機栽培が軌道に乗り、まさにこれからという時期だった山田さんを襲ったのがコロナ禍でした。ホテルやレストラン、企業などの得意先からの注文がほとんどキャンセルとなってしまった現在は、バラの生産を一時的に抑え、種や多様な切り花を中心に出荷しています。

そんな山田さんから消費者の皆さまに向けて、「このようなが時世だからこそ、1週間や1カ月一度、一輪で構いませんのでご家庭に花を飾って癒しを得たり、楽しんでいただくなど、花のある暮らしの豊かさをもっと多くの方々に広まると嬉しいです」とメッセージをいただきました。

